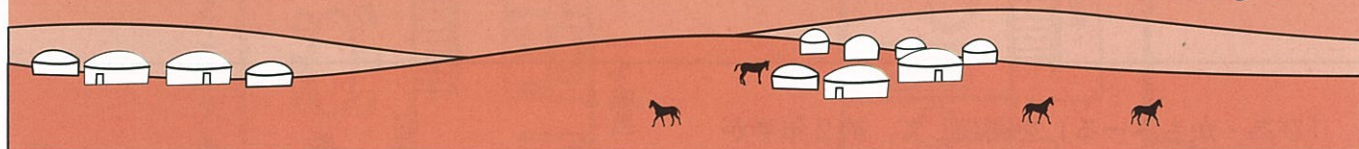


Newsletter

vol.23

ぴあ・かもみーる日記⑤ ●
 ステップハウス移転について ●
 市民講座レポート ●



パオの
 現いま

「ぴあ・かもみーる」日記⑤

○ 僕がAさんと初めて出会ったのは、ちょうど僕が弁護士になって半年ほど過ぎた頃でした。Aさんのパートナー弁護士として、新人の僕と、とても優しいお姉さんの存在のK弁護士、そして大ベテランで(自称?)若手のT弁護士の3人で彼女のサポートをしていくことになりました。

Aさんは、とても心の優しい子で、周りのみんなをほんわりさせる癒しオーラの持ち主です。そんなAさんの優しさは、一緒に生活するぴあ・かもみーるの子どもたちにお菓子をふるまう姿からもうかがい知ることができます。Aさんは、自分の作ったお菓子を美味しく食べる他の子たちの顔を見ながら、笑顔になっています。また、Aさんは、スタッフの誕生日をお菓子でお祝いしたり、疲れてる様子の子にチョコレートを作ってあげたりと、いつも人を気遣い、人の喜びを自分も一緒に喜びとして感じられる、そんな優しい子です。

Aさんと僕との主な関わりは、自立のための準備や手続きで色々な場所に出向く必要があるときに、車でぴあ・かもみーるに迎えに行き運転手になったり、T弁護士やK弁護士と一緒に気分転換に回転寿司を食べに行ったり、カラオケにいったりすることです。もちろん、これからの進路に関わる大事な相談をすることもパートナー弁護士の重要な役割の一つです。

Aさんは、ぴあ・かもみーるで過ごすようになってから、ボランティア活動に参加したり、職業訓練として飲食店で製菓作業に取り組むなどして、自立のための準備を一步一步進めていきました。

そんなAさんは、時折、僕との会話ですごく緊張した様子を見ることがあります。そんな時、僕としては何か傷つけるようなこと言っちゃったかななどと心配になったりもします。しかし、きっと、こんな風な僕とのやりとりも含め、色々な人との人間関係がAさんの経験となっていくのかなと考えるようにして、僕はこれからもぴあ・かもみーるに頻りに足を運びたいと思います。

ぴあ・かもみーるに来てからのAさんは、自立に向けて着実に成長している姿を僕たちに見せてくれます。アルバイト先にお弁当をもって出勤するAさんの表情は、なんだか自信にみなぎっています。

まだまだこの先、進む道を決めるに当たっては、多くの悩みに直面する場面もあるかと思っています。そんな時、最適な助言をしてあげられる力は僕にはないかもしれないけれど、せめてその悩みを聞いて一緒に悩めるそんな存在であれたらいいなと心に秘めながら、これらからもAさんの自立と幸せを応援していきたいと思います!(よ)

